

# 届け 世界の果てまでも

令和3年7月15日

No. 23

文責 校長 飯久保一男

いつもは金曜日に配付の本通信ですが、明日は5年生の林間学校があり、5年生保護者に配付できませんので、本日配付します。

## 「がんばれ」よりも…

まず、うん十年前前の栄養剤のCMのキャッチコピーです。

「がんばって」と言い「がんばりすぎないで」と思う。

出勤する旦那さんの背中に向けた、奥さんの声というようなCMだったと記憶しています。



続いて、去年のこの紙面（No. 12）に掲載した内容です。

ある調査によると、夫が妻から言われる言葉で

「言われて、うれしい言葉」 第1位 → 「がんばって」

「言われて、つらい言葉」 第1位 → 「がんばって」

だったそうです。「よし！」と気合の入っているときは励まされるとうれしいものですが、精一杯やっているのになかなかうまくいかないとき、落ち込んでいるとき、疲れているときに、励まされても、気持ちの分かってもらえない言葉、負担になる言葉になってしまいます。こういうときは、「無理しないでね」などと言ってもらえるといいのでしょうか。つまり、相手の気持ちを汲んでいる言葉かどうか大切ということになります。

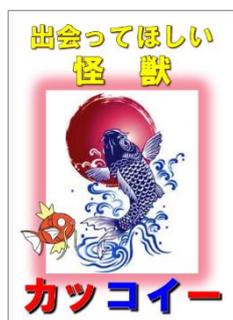
誰かを励まし、元気づけるとき「がんばれ」「がんばって」という言葉をつかうことが多くあります。ところが、精一杯やっているのに「がんばれ」と言われても、辛い言葉、プレッシャーをかける言葉になってしまうこともあります。

ある文書を読んでいたら、こんなコメントを見つけました。

「バンジージャンプ」をするのに戸惑っている人に何と言葉をかければ、早くジャンプができるか試してみた。

△「がんばれ」の声かけでは、なかなかジャンプできなかった。

◎「カッコいい」と声をかけたら、早くジャンプできた。



「おっ、こんなところに“カッコいい”が出てきた！」と、何となくうれしくなりました。私がキーワードにしている「カッコイイ」とはちょっと違うかもしれませんが、ギリギリの心理状態に追い込まれている人に、「がんばれ」と言っても、追い込む言葉になってしまいます。

子どもたちががんばってほしいときは、心の中で、「がんばれ、がんばれ」と応援し、声に出す言葉は、その子を認める言葉がけの方がいいと思います。

今年の学校教育目標や学校経営方針から、子どもたちに向けて「今年のめあて」としてまとめたものです。

【 今年のめあて 】

その1 お互いを思いやると「かっこいい」

○自分を大切にして、ほかの人も大切にしよう

その2 お互いを高め合うと「かっこいい」

○やる気をもって授業に参加しよう

○楽しい学校・学年・学級をつくろう

やる気のあることば 「ぼくがやります」「私がやります」

その3 あたり前にできると「かっこいい」

○けじめをつけよう、きまりを守ろう

○ふつうにできると、かっこいい

あいさつ 返事 感謝のことば（ありがとう）

整列や移動を無言でまっすぐ

そうじを無言ですみずみまで

整理・整とん（はきもの、ロッカー、机・いす）



各教室には、右写真を掲示してあります。本校の教職員は、よく「かっこいいね！」という声かけをしています。子どもたちががんばっているときの言葉です。これから何かをするときにかける言葉ではありません。子どもたちの努力や取り組みのよさを認める言葉がけです。がんばっていることが分かったら、「がんばって」よりも、「いいねえ」「ステキだよ」「かっこいいね」などのがんばりを認める言葉が必要です。

こんなコラムを見つけました。

小学生の息子のサッカーの試合を見に行くと、保護者の声援は凄まじいものがあります。黄色い声援が飛び交います。その声援の中で、いちばん多い言葉が「がんばれ！」です。

大声で息子を応援していた妻が帰宅後に、「ねえねえ、お母さんの声、聞こえた？」と問いかけてきました。すると息子は迷惑そうに、「聞こえているけどさあ、もう声を出して応援するのやめてくれないかなあ。」と言ったのです。そして、「別に『がんばれ！』って言われなくたって、こっちはがんばってるんだよ！いちいち言われなくても、分かってんだから！」と答えたのです。そのときの妻は、鳩が豆鉄砲を喰らったような顔になったので、私は思わず吹き出しそうになりました。

あとで、息子に「なんで、あんなこと言ったの？」と聞いたら、「こっちは一生懸命やっているのにさ、がんばれ、がんばれって、好きなように言ってるのって腹が立つんだよ。なんか自分勝手過ぎるんだよな。」と答えました。なるほど、そういうことかと合点がいきました。小学生でもこうなんだから、これが大人だったら、なおさらだな、そして、自分自身もまさにそうだな、と思ったのでした。

ミニバスの試合中、ベンチから指示を出すのに「がんばれ」の言葉は封印していました。選手たちに何をがんばればいいのか伝わらないので、具体的な指示を出すようにしていました。保護者の声援で盛り上がりますが、選手は「試合中は監督の声しか聞こえません」と言っていました。

